

■ 『科学的社会主義』はどこまで科学だったのか？

# 現代科学とマルクス主義 1956-1985年

## - W.ウェインライト関連文書コレクション -

### Science and Marxism, 1956-1985

**マルクス主義と現代科学の関係についてより深く知る**



ウィリアム・ウェインライト (William Wainwright, 1908-2000) は、イギリスの共産主義活動家であり、英国共産党 (CPGB) のメンバーでした。党在籍中、彼は短期間ながらイギリス・ソビエト協会の書記を務め、1950年代から1960年代にかけての平和運動に深く関与しました。しかし、彼が最もよく知られているのは、「科学的社会主義」という概念に関する著作でしょう。

本コレクションには、ウェインライトが CPGB の科学技術小委員会で活動した記録や、新聞『モーニング・スター』の科学担当記者として執筆した記事が含まれています。また、ベトナム戦争、公共交通政策、プロレタリア独裁の意

義といった多岐にわたるテーマについての彼の個人的な考察も収録されています。これらの資料は、マルクス主義思想と現代科学の複雑な関係を探求する研究者にとって貴重な洞察を提供します。

注記：本コレクションには、マンチェスター大学の Kevin Morgan 教授が執筆した3本の解説論文も付属しています。



#### 大学・学術機関向け価格

FTE (学生数+教職員数)	3,000~4,999	5,000~9,999	10,000~19,999	20,000~29,999	30,001 以上
Archive 買い切り価格	価格は弊社までお問い合わせください				

※大学・学術機関向け IP 接続・同時アクセス無制限でのご利用となります。

※Archive 買い切りの年間管理費 (Annual Hosting Fee) は不要です。

※正式な見積価格は最寄りの弊社営業員に別途ご用命ください。

**トライアルも承ります!! 詳細お問い合わせは弊社まで**

日本総代理店 **極東書店**

**FAR EASTERN BOOKSELLERS**  
KYOKUTO SHOTEN LTD

〒101-8672 東京都千代田区神田三崎町 2-7-10 帝都三崎町ビル  
〒600-8357 京都市下京区柿本町 579 五条堀川ビル  
〒810-0073 福岡市中央区舞鶴 1-3-14 小榎ビル

03(3265)7531 FAX (3556)3761  
075(353)2093 FAX (353)2096  
092(751)6956 FAX (741)0821

URL: <https://www.kyokuto-bk.co.jp>

E-mail: [info@kyokuto-bk.co.jp](mailto:info@kyokuto-bk.co.jp)





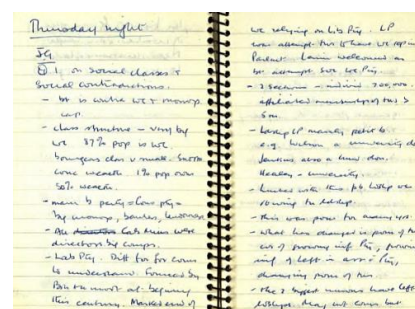
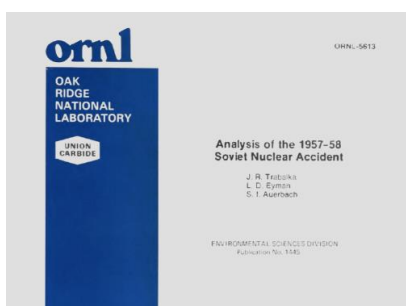
初期のマルクス主義思想家たちは、自らの政治・経済理論が科学と科学的方法に基づいていると主張しました。例えば、カール・マルクスの唯物史観は、人類の発展が一連の歴史的段階を経て進み、最終的には世界的な共産主義社会に到達することが科学的に決定されていると考えました。そのため、科学と社会主義は単に補完的な関係にあるだけでなく、むしろ同一のものと思われました。実際、フリードリヒ・エンゲルスは、社会主義を科学の一分野であるとまで述べています。

ウィリアム・ウェインライトは 1931 年にイギリス共産党 (CPGB) に入党しました。彼は党内で着実に評判を築き上げ、幹部の間でも影響力を持つようになり、最終的には党の指導部においていくつかの重要な役職を務めました。その存在感が際立ったのは 1973 年のことでした。CPGB の書記長であったジョン・ゴランが北ベトナム訪問の際に同行者としてウェインライトを指名したのです。

ウェインライトはまた、党の「科学技術小委員会」に所属していました。この委員会は「科学の発展に伴う政策課題について、執行委員会に情報提供と助言を行う」ことを目的として設立されたものです。

本コレクションでは、ウェインライトのジャーナリストとしての活躍にも焦点を当てています。彼は新聞『モーニング・スター』で長年にわたり様々な役職を務め、特に副編集長や科学担当記者として活躍しました。彼の訃報を掲載した『ガーディアン』紙は、「誰もウェインライトほど熱心に、そして献身的に『モーニング・スター』のために働いた者はいなかった。彼はわずかな報酬のために過剰な長時間労働を続けた」と評しています。

1980 年代半ば、CPGB 内で派閥抗争が激化していた時期に、ウェインライトは『モーニング・スター』を解雇されるという事件に直面しました。彼は、同紙の株主に対し、CPGB 執行委員会の提案を支持するよう働きかけたが非難されたのです。しかし、この解雇に対する強い抗議が巻き起こった結果、彼は復職しました。その後も党に留まりましたが、1991 年に CPGB が解散し、後継組織である Democratic Left. に移行するまで活動を続けました。



■テーマ別に全 5 パートに整理されたアーカイブ

1. William Wainwright's reflections on the Vietnam War, 1973

このパートには、1973 年にイギリス共産党 (CPGB) 指導者ジョン・ゴランと共に北ベトナムを訪問した際に、ウィリアム・ウェインライトが記した日記の記録が収められています。

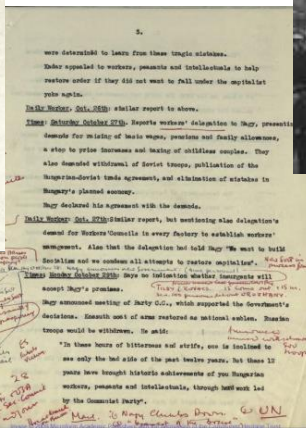
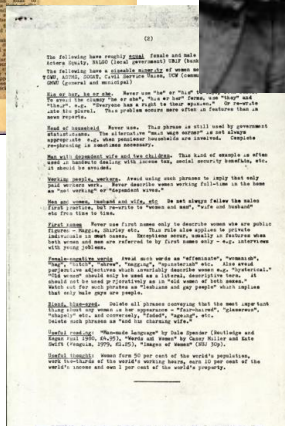
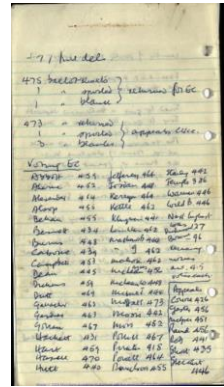


2. Papers on various Communist Party of Great Britain (CPGB) congresses, 1956-1977

このパートには、1956 年から 1977 年の間に開催された 6 回の CPGB 大会において、ウィリアム・ウェインライトがまとめたメモ、回覧文書、および関連資料が含まれています。主なテーマには、スターリンの個人崇拜、1968 年のソ連によるチェコスロバキア侵攻、プロレタリア独裁の意義などが含まれています。

3. The Communist Party of Great Britain's Science and Technology Sub-Committee (STSC), 1964-1985

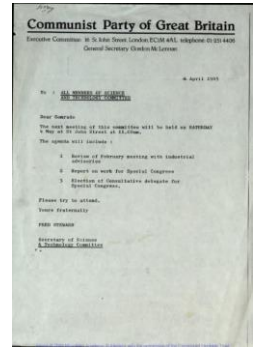
このパートには、1964 年から 1985 年にかけてのイギリス共産党「科学技術小委員会」(STSC) の議事録、書簡、回覧文書、および関連資料が収録されています。STSC は「科学分野の発展に伴う政策課題について、執行委員会に情報提供と助言を行う」目的で設立されました。主にエネルギー政策に焦点を当てた文書が多いものの、薬物政策、遺伝子工学、自動化と資本主義の関係といったテーマについての記録も含まれています。





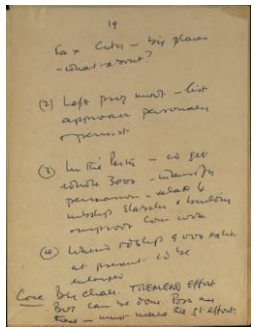
#### 4. Papers on the Daily Worker and Morning Star, 1956-1985

このパートには、ウィリアム・ウェインライトが『デイリー・ワーカー』および『モーニング・スター』の編集委員を務めていた時期に収集した資料が収められています。文書には、編集方針、広告方針、発行部数の統計、さらに 1984 年にウェインライトが『モーニング・スター』の科学担当記者を解任された際の経緯が記録されています。



#### 5. Miscellaneous papers of William Wainwright, 1956-1967

このパートには、ウィリアム・ウェインライトの個人資料の中から 3 つの文書が収録されています。これらの文書では、科学とマルクス主義に関する彼の思想、都市計画と交通政策、そして 1956 年のハンガリー動乱についての考察が記されています。




■BOA のご利用で日本国内に居ながら原資料を閲覧することが可能になります  
印刷やダウンロードも可能なため、原資料へのメモやコメントの書き込みや  
線を引いたり、付箋を貼るなど柔軟な活用ができます。

**British Online Archives の詳細お問い合わせは弊社まで**

 **日本総代理店 極東書店**

〒101-8672 東京都千代田区神田三崎町 2-7-10 帝都三崎町ビル

TEL: 03-3265-7531 FAX: 03-3556-3761 <https://www.kyokuto-bk.co.jp> E-mail: [info@kyokuto-bk.co.jp](mailto:info@kyokuto-bk.co.jp)